

問1	室町時代の農村において、二毛作の普及や牛馬を利用した農耕の発展により農業生産力が向上したことを背景に、有力な農民を中心に形成された村ごとの自治組織を何といいますか。 （2020年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 株仲間	2. 惣	3. 座	4. 五人組
問2	16世紀のヨーロッパで起こった宗教改革によって、ローマ教皇を中心とするカトリック教会から分離し、新しく成立したキリスト教の諸派を総称して何と呼びますか。なお、この勢力に対抗してカトリック側が布教を強化したことが、後にイエズス会による日本へのキリスト教伝来につながりました。 （2024年 秋田県公立入試 類似）			
	1. イスラム教	2. プロテスタント	3. 清教徒（ピューリタン）	4. 正教会
問3	明治時代の産業発展において、海外から輸入した綿花を原料として機械で綿糸を生産し、1890年代後半には輸出量が輸入量を上回るまでに成長した工業の名称を次の中から選びなさい。 （2025年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 製糸業	2. 造船業	3. 製鉄業	4. 紡績業
問4	SNSの利用に関する注意点として、他人が映っている写真を本人の承諾を得ずに投稿する行為は、私生活を侵害するだけでなく、本人の容姿を勝手に公表されない権利を侵害することにもなります。このように、自分の顔や姿を無断で撮影・公開されない権利を何といいますか。 （2021年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 生存権	2. 知る権利	3. 肖像権	4. アクセス権
問5	先進諸国における人口に占める65歳以上の割合（老年人口比率）と国民負担率の関係において、日本の状況を説明した文として正しいものを選びなさい。 （2026年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 他の先進諸国と比較して、老年人口比率が非常に低いため、国民負担率を抑えることができている。	2. フランスやスウェーデンなどの諸国と比較すると、老年人口比率は高い水準にあるが、国民負担率は比較的低い位置にある。	3. 北欧諸国などの高福祉国家と同様に、老年人口比率と国民負担率の双方が世界で最も高い水準で一致している。	4. 老年人口比率は上昇傾向にあるものの、社会保障制度の見直しにより国民負担率は年々減少している。
問6	日本国憲法が定める三権分立の仕組みにおいて、行政権を担う内閣が国会に対して負っている、国の財政に関する義務として適切なものはどれですか。 （2023年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 毎会計年度の予算を作成し、国会に提出する	2. 国会が作成した予算案を精査し、最終的な承認を行う	3. 国の予算に不足が生じた際、裁判所の許可を得て増税を決定する	4. 予算の執行を管理するために、新しい法律を単独で制定する
問7	「有権者である住民が地方議会の議員を選出すると同時に、知事や市町村長も直接投票で選ぶ」という地方自治の仕組みと、国政の仕組みを比較した説明として、制度上の背景を含んだ適切なものはどれですか。 （2018年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 地方自治も国政も、行政の長は立法機関の議員による指名を経て就任することが憲法で義務付けられている。	2. 地方自治では首長と議会が対立しないよう首長は議会から選出されるが、国政では国民の直接投票が優先される。	3. 地方自治では首長が国会議員の中から指名されるが、国政では国民が首相を直接選ぶ直接民主制が徹底されている。	4. 地方自治では住民が首長を直接選ぶ二元代表制が採られているが、国政では国会議員が首相を指名する議院内閣制が採られている。
問8	律令国家が作成した戸籍の中には、ある郷の総人口435人のうち、男性が59人であるのに対し、女性が376人と記録されているものがあります。このように、実際の性別とは異なる虚偽の申告が行われた背景には、男性にのみ課せられた重い税負担がありました。収穫した稲の約3%を納める「租」とは別に、男性にのみ課せられた、地方の特産品を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2023年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 調と庸	2. 租と公出挙	3. 租と調	4. 租と庸
問9	太陽光発電や風力発電といった他の再生可能エネルギーと比較した際、地熱発電が持つ大きな特徴として正しいものはどれですか。 （2019年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 設置場所を問わず、都市部や平野部でも大規模な発電が可能である	2. 発電時に二酸化炭素を大量に排出するため、地球温暖化の原因となる	3. 天候や昼夜の別に関わらず、年間を通じて安定した電力を供給できる	4. 風の強さに応じて発電量が変動するため、電力供給が不安定である
問10	日本の人口分布について、1950年と2020年の統計を比較した資料に基づく、東京圏、大阪圏、名古屋圏を合わせた「三大都市圏」の人口割合には大きな変化が見られます。現在の日本における三大都市圏の人口状況を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。 （2025年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 東京圏への一極集中は進んでいるが、三大都市圏の合計では総人口の3割程度にとどまっている	2. 名古屋圏と大阪圏の人口が激減したため、三大都市圏の合計人口は減少傾向にある	3. 東京圏、大阪圏、名古屋圏の合計人口が、日本の総人口の5割（半分）を超えている	4. 地方圏での人口増加が著しく、三大都市圏が占める人口の割合は1950年よりも低下している
問11	先進工業国である日本、アメリカ、ドイツの貿易構造について述べた文として、統計的な事実に基づいた最も適切な説明はどれですか。 （2020年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 3か国とも輸出総額に占める機械類の割合が高く、その中でも自動車は共通して主要な輸出項目となっている。	2. 機械類は発展途上国からの輸入に頼る項目であり、これら3か国の輸出においては食品や金属製品が上位を占める。	3. 日本とドイツは資源の少ない国であるため、自動車などの工業製品ではなく鉄鋼などの原材料の輸出を優先している。	4. アメリカは航空機の輸出に特化しているため、自動車の輸出割合は日本やドイツと比べて極めて低い。
問12	江戸時代の長崎貿易において、国内各地の鉱山から集められた銅が主に輸出されていた相手国の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2020年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 朝鮮と琉球	2. イギリスとポルトガル	3. 清（中国）とオランダ	4. ロシアとアメリカ
問13	西半球の北部に位置し、東側を大西洋、西側を太平洋、そして北側を北極海という3つの広大な海洋に囲まれている大陸はどれですか。 （2017年 秋田県公立入試 類似）			
	1. 南アメリカ大陸	2. ユーラシア大陸	3. オーストラリア大陸	4. 北アメリカ大陸

答え合わせ・解説

問1	答え 2 惣	室町時代には、農業技術の進歩によって農民の自立が進みました。これにより、村の重要な事項を決定するための「寄り合い」を開いたり、独自の「村掟（惣掟）」を定めたりする、惣（惣村）と呼ばれる自治組織が作られました。選択肢にある「座」は商工業者の同業者組織、「株仲間」は江戸時代の商工業者の組織、「五人組」は江戸時代に農民を統制するために作られた制度です。
問2	答え 2 プロテスタント	ルターやカルバンらの主張を支持した人々は、カトリック教会に「抗議する者」という意味からプロテスタントと呼ばれました。カトリック側はこれに対抗して自らの勢力を立て直すためにイエズス会を設立し、アジアなど海外への布教を積極的に行うようになりました。
問3	答え 4 紡績業	明治時代、大阪紡績会社の設立などをきっかけに、蒸気機関を用いた機械による大規模な生産が普及しました。この産業の発展により、それまで輸入に頼っていた綿糸の国内生産が拡大し、日清戦争前後には日本を代表する輸出産業へと成長しました。蚕の繭を原料とする「製糸業」と混同されやすいため注意が必要です。
問4	答え 3 肖像権	肖像権はプライバシーの権利の一種として認められている権利です。特定の個人を特定できる写真や動画を許可なくSNSなどの公共の場に公開することは、肖像権の侵害やプライバシーの侵害にあたる可能性が高いため、適切な情報の取り扱いが求められます。
問5	答え 2 フランスやスウェーデンなどの諸国と比較すると、老年人口比率は高い水準にあるが、国民負担率は比較的低い位置にある。	日本は世界でも急速に少子高齢化が進んでいるため、老年人口比率は他の先進国と比べても極めて高い水準にあります。しかし、国民所得に対する租税負担と社会保障負担を合わせた国民負担率は、高福祉・高負担を維持しているフランスやスウェーデンなどのヨーロッパ諸国に比べると、相対的に低く抑えられているのが現状です。今後の高齢化のさらなる進展により、社会保障給付費が増大し、負担率が上昇していくことが予想されています。
問6	答え 1 毎会計年度の予算を作成し、国会に提出する	日本国憲法第86条に基づき、内閣は毎会計年度の予算を作成し、国会に提出してその審議と議決を受けなければなりません。これは、国の財政運営を国民の代表機関である国会のコントロール下に置くためです。選択肢にある「条約の承認」や「法律の制定」は国会の権限であり、内閣はこれらに基づいて行政を行います。予算案そのものを作成する権限は内閣に専属しています。
問7	答え 4 地方自治では住民が首長を直接選ぶ二元代表制が採られているが、国政では国会議員が首相を指名する議院内閣制が採られている。	地方公共団体において、住民が議会と首長の両方を直接選出する仕組みを「二元代表制」と呼びます。これにより、首長は住民から直接的な正当性を得て行政運営を行います。一方で、国政においては国民が国会議員を選び、その国会が内閣総理大臣を指名して内閣が組織される「議院内閣制」が採用されています。この違いにより、地方の首長は住民に対して直接の責任を負う側面がより強くなります。
問8	答え 1 調と庸	律令制下では、すべての人民に口分田が与えられ、その面積に応じて収穫した稲の約3%を納める「租」が課せられていました。これに加え、成人男性には地方の特産品を納める「調」や、都での年間10日の労役の代わりに布を納める「庸」などが課せられていました。これらの負担は非常に重く、さらに都まで運ぶ運脚の負担も男性が負っていたため、人々は戸籍上で性別を偽る「偽籍（ぎせき）」を行って負担を逃れようとしていました。
問9	答え 3 天候や昼夜の別に関わらず、年間を通じて安定した電力を供給できる	太陽光は夜間や雨天時に発電できず、風力は風速によって出力が変動しますが、地熱発電は地下のマグマの熱を継続的に利用するため、天候や季節に左右されることなく安定した電力を得ることができます。これをベースロード電源としての特性と呼びます。
問10	答え 3 東京圏、大阪圏、名古屋圏の合計人口が、日本の総人口の5割（半分）を超えている	高度経済成長期以降、就業機会や教育環境を求めて地方から都市部へ人口が大量に流入しました。1950年時点では三大都市圏の人口割合は3割程度でしたが、2020年の統計では東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）、大阪圏（大阪府・京都府・兵庫県・奈良県）、名古屋圏（愛知県・岐阜県・三重県）を合わせると、全人口の50%以上がこれらの地域に居住しています。この極端な集中により、都市部では過密、地方部では過疎という問題が生じています。
問11	答え 1 3か国とも輸出総額に占める機械類の割合が高く、その中でも自動車は共通して主要な輸出項目となっている。	アメリカ、ドイツ、日本は高度な製造技術を背景に、世界市場へ多様な機械類を輸出しています。アメリカには航空機という独自の強みもありますが、自動車産業はこれら3か国すべてにおいて基幹産業となっており、輸出額において重要な地位を占めています。選択肢にあるような「原材料の輸出が優先」や「機械類を輸入に頼る」といった状況は、これら3か国の経済構造とは一致しません。
問12	答え 3 清（中国）とオランダ	幕府が制限した「鎖国」体制下の長崎では、出島でのオランダ貿易と、唐人屋敷を介した清（中国）との貿易が行われていました。これらの国々から輸入する生糸や薬種などの代金支払いのために、日本の銅は欠かせない輸出資源となっていました。
問13	答え 4 北アメリカ大陸	北アメリカ大陸は、地球を東半球と西半球に分けた際、本初子午線より西側の「西半球」に位置する大陸です。北半球の広範囲を占めており、その周囲を北極海、太平洋、大西洋という3つの海に面しているのが地理的な大きな特徴です。同じ西半球にある南アメリカ大陸は、その大部分が南半球に位置しています。